

常任委員会レポート

総務産業委員会

町内公共施設におけるブロック塀の危険性を調査

平成30年8月10日、所管事務調査を実施しました。

調査事項

①町内公共施設におけるブロック塀等の状況調査について

平成30年6月18日に発生した大阪府北部を震源とする地震により、小学校のブロック塀が倒壊し、塀に挟まれて児童が亡くなるという痛ましい事故が発生したことを受けて、町が所管する全ての公共施設を対象に、ブロック塀等の調査をしました。国では、文部科学省が学校施設の全国的な調査を

行っていますが、公共施設全般の調査は、国では行っていません。町としては地震等があった場合、災害時の事故を未然に防ぐためにも独自に学校施設も含めた公共施設全般の調査確認を行いました。調査対象は、町が所管する全ての公共施設、72施設を調査しました。調査内容は、ブロック塀等の構造、塀の高さ、壁の厚さ、控え壁の設置、劣化状況等を目視により調査し、現行の建築基準法に適合しているかを確認しました。調査期間は、平成30年6月26日から7月6日まで。建築基準法に規定す



るブロック塀等に関する基準では、コンクリートブロック塀の場合、塀の高さが地面から2.2メートル以下で、壁の厚さが10センチメートル以上ないと基準外。ただし、塀の高さが2メートルを超える場合は、15センチメートル以上の壁の厚さが必要、控え壁は、強度を保つための壁なので、控え壁の設置間隔が、3.4メートル以下です。この調査の中で、建築基準法に適合しない疑いのあるブロック塀等を有する施設は、学童保育おしゃもし山クラブ、中央公民館石坂分館の2施設でした。

福祉文教委員会

公民館・図書館等の管理運営の検討を調査

平成30年8月3日所管事務の調査を実施しました。

調査事項

①鳩山町公民館・文化会館の管理運営の検討

民間活力の活用（アウトソーシング）による管理運営も検討しています。指定管理者制度や窓口の民間委託、職員配置の見直し等の検討をします。検討日程は、今年の7月～11月に庁内で検討、11月に政策会議で基本方針の素案をつくり、12月～来年の6月まで「町民検討委員会」で協議。7月～8月にパブリックコメントを実施する予定です。

中央公民館は竣工以来42年が経過し、非常用発

電機、高圧ケーブルの交換が必要です。

文化会館は、26年経過し、外壁の改修、ホワイエの屋上の防水工、ロールカーテン、音響調整卓やスピーカーの改修、調光器や調光卓の交換など必要になっているという事です。

「参加人数、若い人の参加を増やす努力」「エレベーターの設置」「問取りの検討」などの要望がありました。



様々な改修が必要になってくる文化会館

②鳩山町図書館の管理運営の検討

図書館は、竣工以来30年が経過し、エレベーターの電子制御盤を改修する必要が起きている、部品がなくなっています。駐車場など狭く滞在型の図書館ではありません。

夏休み中は、2階の会議室を開放しています。展示してある書棚のスเปースも狭く、書庫に保管されてあり、パソコン検索で町の書庫にあれば、すぐに借りられるようになっていきます。

「図書館の利用を多くできるよう開館時間の延長」「本の宅配の検討」「図書館協議会委員は、公募委員を含め、2人増員」などの要望がありました。

第1回臨時議会報告

平成30年7月19日に開会されました。提案された議案は、(仮称) 鳩山新ごみ焼却施設の建設に伴う一町道路線の廃止および認定について一で、起立多数で原案のとおり可決されました。

〈賛成討論〉

地元との協定が整った時点で議決すべきもの。場所の選定も、組合や首長の主導で行われており、協定が締結されていなくても、地元の要望や、懸念を無視しないし軽視するものと考える。(根岸)

〈賛成討論〉

町道の廃止手続きが完了していないこと、協定書締結の目的が立っていないという理由により、工事の一時中止という事態に陥っている。さまざまな理由で、施設建設が遅れてきた。これ以上の問題が出ると、組合を脱退させられ、賠償請求をされかねない。一刻も早く工事の正常な着工に向けて取り組む必要がある。(大賀)

一部事務組合協議会報告

町の事業を他の市町と共同して行っています。

西入間 広域消防組合

財産の取得
鳩山消防団第2分団へポンプ自動車購入。取得価格2157万8400円。

毛呂山・越生・鳩山 公共下水道組合

平成31年1月1日より、下水道使用料が、各町の水道課に徴収委託されます。平成31年度から公営企業会計へ移行されます。

広域静苑組合

来たる12月22日に、新しくなった、越生斎場竣工式及び火入れ式が行われ、23日から本格稼働します。また、坂戸市が構成団体に加入します。

2月に(仮称)鳩山新ごみ焼却施設の工事契約が締結されてからの経緯を時系列的にまとめました。

基本契約、建設請負契約、運営委託契約について

2月15日の埼玉西部環境保全組合議会において、基本契約、建設請負契約、運営委託契約の3契約について、契約締結に関する議決を可決。
3月18日に上熊井地区にて、基本契約、建設請負契約、運営委託契約の3契約の説明会を開催。
3月27日に(株)H I 環境エンジニアリングと(株)神鋼環境ソリューションの統合協議(吸収合併)がプレスリリースされる。
4月8日に泉井地区にて、説明会を開催。統合協議に対する厳しい意見等が出た為、本筋の3契約締結の説明が出来なかった。
4月22日に上熊井地区にて、統合協議の説明会を開催。一定の理解を得る。

協定書について

3月20日に上熊井、泉井両地区長から、地区作成案を町が受領。
5月20日に地域協議を開始。

工事の一時中止、工事延長について

6月8日付けで、事業者から、「(仮称)鳩山新ごみ焼却施設建設工事の一時中止、工事延長のお願い」が組合に出される。理由は、工事予定地内にある町道の廃止手続きが完了していない為、工事に取りかかれないことと、協定書締結の目処が立っていない事。
組合は、6月11日付けで事業者に対し「請負工事の一時中止について」を通知。
7月7日に泉井地区で、8日に上熊井地区で、工事中止、延期の説明会を開催。町道廃止の件と、町が協定書を作成する件の了承を取り付ける。
7月19日の臨時議会にて、町道廃止を議決。21日、28日開催の泉井・上熊井地区協議会合同会議において、町作成の協定書の了承を得る。
8月5日、協定書を締結。
懸案であった2件の問題を解決する事により8月10日付けで、組合から事業者に対し「一時中止中の請負工事の再開について」を通知。
一定の解決をみる。

平成29年度一部事務組合の決算状況

名称	歳入額	歳出額	町負担額	借入残高	基金残高
坂戸地区衛生組合	2億6,266万円	2億3,716万円	2,208万円	6,000万円	3,000万円
埼玉西部環境保全組合	21億6,052万円	20億8,550万円	2億64万円	11億6,033万円	22億9,805万円
西入間広域消防組合	13億5,517万円	13億3,221万円	2億8,177万円	5億8,712万円	7,430万円
毛呂山・越生・鳩山公共下水道組合	14億9,994万円	13億8,809万円	1億4,129万円	58億4,914万円	0
広域静苑組合	8億3,815万円	5億9,995万円	631万円	3億5,990万円	1億7,461万円
合計	61億1,644万円	56億4,291万円	6億5,209万円	80億1,649万円	25億7,696万円

※万円以下は四捨五入